第16回フロールエバーウェブコンテスト

『花を贈る日』

特別な日に贈る花／何でもない日に贈る花
花を贈ることで、日常が非日常になる

florever
Preserves the beauty

第16回フロールエバーウェブコンテストの受賞作品が決定しました。
日本国内、および海外より応募のあった多くの素晴らしい作品の中から、一次審査・二次審査を通過した12作品に各賞が授与されました。

ウェブコンテスト賞

卒業おめでとう!
河合　由恵 (愛知県)

イギリスの大学を卒業した娘へのお祝いに、
卒業証書を持ち、卒業式の帽子をかぶった娘が好きなくまを贈ります。
4年間過ごしたイギリスをイメージし、くまが、イングリッシュガーデンに座っています。
このアレンジメントを見るたびに、頑張った大学生活を思い出し、今後の生活に花を添えることでしょう。

審査員賞

優花
荻原　昌代 (山形県)

年に何度も入退院を繰り返す母。ベッドサイドは医療機械でいっぱいで、花を飾るスペースもなく、ただ点滴バッグを眺めるだけの母に贈る花です。点滴スタンドの空きフックに吊り下げます。回転も自由で好きな面を向けることができます。少しでも心穏やかに癒されることを願い作りました。

フロールエバー ウェブコンテストとは

2004年のスタートから、過去15回にわたり開催してきたプリザーブドフラワーのコンテスト。WEBから気軽にご応募でき、海外からの参加も可能です。
毎回変わるテーマは花の枠にとどまらず、プリザーブドフラワーの可能性を常に探求しています。
一次審査を通過した入選作品はWEB上で写真を公開し、一般の方にも人気投票にご参加いただきました。
また、入選作品展示会をBROOKLYN BEAUTY / FASHION LABO in Tokyo (BBFL in Tokyo)(東京・新木場)で開催しました。

花時間賞

la douce chaleur
月村　香織 (東京都)

日々に追われ忙しいあなたへ。いちにちの中のほんの少し僅かでも、ゆっくりほっこり安心できる時間が過ごせるよう願いを込めて作ったお花です。優しい灯りとほのかな香りとともにこのお花であなたの心が癒されますように。ステキな笑顔で明日も楽しみましょうね。

フォーシーズンズプレス賞

Fly High!! 思いのままに
中島　思津香 (広島県)

この春から新社会人となり、海外で暮らす娘への花束。気になる方向へ次々と進んで行く姿は、まるで蜜を追って飛び回る蝶の様、心配だけど頼もしい。
この花束がお守りとなりますように。

ブティック社賞

お母さん、いつもありがとう!
上野　礼奈 (静岡県)

今年古希を迎える母へ、いつもありがとう、これからもずっと元気でいてねという気持ちを込めて作りました。若い頃は、当たり前だと思っていた母親の存在、自分が母親となった今、あらためてその偉大さと愛情を感じただただ感謝の気持ちしかありません。「いつもありがとう!」の気持ちを、お花とともに伝えたいと思います。

www.florever.co.jp

第16回 フロールエバーウェブコンテスト

『花を贈る日』

奨励賞

心を込めて向き合おう
HSIAO TZU HUI (Taiwan)

この本を開いたら、フラワーデザインの美しさと出会えて、今まで行ったことのない神秘で素晴らしいところに連れて行かれる。どんなに忙しくても、大自然に触れ合うことを忘れないでね。コーヒーでも飲んで、のんびりな時間を楽しんでまじめに生活を味わって、好きなことがあれば、心を込めて向き合おう。

御両親へ感謝のギフト
宇宿　敬子 (神奈川県)

和装での結婚式。お互いのご両親様へ感謝の気持ちを込めて、ずっと飾っていただけるプリザーブドフラワーを使ったアレンジメントをお作り致しました。1枡ずつギフトとしてお渡しいただけますが、4枡合わせると一つの大きなアレンジメントとして、お式や披露宴でも飾れるようにデザインしてございます。二つのご家族が合わさって、益々のご発展ご多幸をお祈りしております。

good life
鈴木　ひとみ (愛知県)

山好きの息子夫婦が山の麓に家を構えて早2年。
「いつか手作りの花を作ってね」と言われてましたが、ようやく作ることができました。

癒される空間
黒田　貴美 (神奈川県)

お母さん、私達5人の子供を育て上げてくれてありがとう。91歳になっても未だに心配してくれてありがとう。今では子供のようになってしまったお母さん。
人一倍バラ好きのお母さん。窓から眺める所狭しと広がっている色とりどりの庭のバラ達。
いつも傍らで見守っていて欲しい, 私のお母さんを…

RIN～凛
美濃部　園子 (静岡県)

物静かで控えめな母は膝を骨折してから外出を控えるようになりました。曲がらなくなった膝をかばって家にいる時間が多くなった今、母の好きなデンドロビウムと薄紫のバラを贈りたいと思います。
美しい花からパワーを沢山もらえますように!!

乾杯に花を添えて
高月　麻子 (東京都)

人生の節目の日のお祝いにお花を贈ります。
今回は、古希のお祝い。乾杯のお酒にプリザーブドフラワーを添えて。おめでとうの気持ちに、華を添える贈り物。大切な人の特別な日を、より華やかに幸せを感じて頂けますように。
和モダンのお宅に合わせ、桐の箱の中に、お好みの器、色にこだわったお花をアレンジさせていただきました。

Eternal torch -花ほおずき-
河野　眞理子 (奈良県)

夏の盛りに宝石のような実を付けるほおずき。
お友達にこのほおずきが大好きな方がいらして何度もプレゼントしましたが、すぐにドライになってしまうので、一年中飾れるようにプリザーブドフラワーで制作してみました。ほおずきは、その姿から提灯に見立てて、お盆のお飾りにも使われます。その灯りを頼りに天上の人の魂が帰って来るので、お友達が愛した家族をいつも近くに感じて貰えるといいなと思ってこの花を贈ります。